

みんなで「ハカ」を実演

地域交流ゾーン1周年記念交流会

友の会と地域の共同のチカラで



3人のシンポジストの方々

午後2時から開催されたこの交流会には、午前中に行われた「健康友の会みみはら総代会」に出席した多くの会員が参加し、職員も合わせて120人を超える取り組みとなりました。

阪本洋三近畿大学文学部教授、リム・ボン立命館大学産業社会学部教授、大矢亮耳原総合病院医師（救急総合診療科部長・日本HPHネットワーク運営委員）によるシンポジウムでは、病院と地域をつなぐホールの役割や可能性が語られ、参加者は熱心に聞き入りました。

昨年5月、耳原総合病院がフルオープンし、地域交流ゾーンも完成しました。その1周年を記念して5月27日土曜日、みみはらホールで「地域交流ゾーン1周年記念交流会」が開催されました。



「ハカ（マオリ族の伝統の踊り）の実演」では斉藤和則理事長、奥村総合病院院長もいっしょに参加し盛り上がりました。また、耳原病院物語を紙芝居で上演し、みみはらの歴史も学びました。

交流会は、地域の方々や友の会会員の熱い思いが感じられる素晴らしい取り組みになりました。

なお、この交流会に合わせて、日本画家の田村仁美さんから、素晴らしい日本画「忘れもんだらあかんよ（タイトル）」を寄贈していただきました。フルオープン時に寄贈していただいた「スヌメの学校」とあわせて、地域交流ゾーンに展示していますのでぜひご覧ください。

2017年 同仁会グループ
医療介護安全大会

今年のテーマは
みんなで学ぶ感染予防

日時 2017年7月8日（土）
14:00～17:00

場所 みみはらホール・外来待合

【講演】 藤本 卓司 医師

《事業所報告》

総合病院	QMS活動の始動報告
鳳クリニック	感染ラウンド報告
歯科診療所	新診療所の紹介

医療介護安全大会実行委員会

看護師・助産師 募集中!

私たちと共に、
安全・安心の医療を
目指しませんか？

応募資格：看護師の有資格者
合わせて、看護奨学生募集（月額5万5千円支給）

勤務地：同仁会 関連施設

詳細については下記まで、
お問い合わせください。

社会医療法人 同仁会 耳原総合病院 師長室
住所 〒590-8505 堺市堺区協和町4-465
TEL 072-241-0501（代） 内線315（担当：小谷）

シリーズ 現場からの視点 その26

熱中症を予防するために

～老健みみはらの対策～

対策1
シーズン通じて、暑さに負けない体づくりをしましょう。
熱中症を予防する為には、暑さに負けない体作りが大切です。気温が上がり始める初夏から、適度な運動を行い、日常における水分補給や適切な食事、十分な睡眠をとるようにしましょう。

対策2
日々の生活の中で、暑さに対する工夫をしましょう。
適度な空調で室内の温度を快適に保ったり、衣服を工夫することで、熱中症の危険を避けやすくなります。また日よけをして、直射日光を避けましょう。熱中症になりやすい環境にいないかを、意識しましょう。

今回は「熱中症にならないよう気をつけていきましょう」をテーマに、現場からの視点を紹介します。

年々気温も上昇し、熱中症の方が年齢を問わず救急搬送されている現状です。今年は5月から猛暑日を観測する地域が出るくらいで、夏は本当に猛暑日が続く予想されます。

熱中症とは、簡単に言えば体の水分が汗や尿などで失われ、体に必要な水分量が保てなくなり、異常をきたすことです。ひどくなると命を落とすこともあり、老若男女問わず熱中症の危険性が年々増え続けています。

ではどのように気をつければいいのかを、老健みみはらでも実践していることをふまえて、くらしの参りにして下さる。

老健みみはらでも、施設長・看護師・介護職を中心に、室温調整や体調管理については、日々の観察をしていますが、特に水分補給は時間を決めて飲んでいただいたり、熱中症予防に心がけていただくとともに努めています。

利用者さんが快適に過ごされるために、職員も奮闘していますが、その職員が熱中症になることも考え、お風呂介助の際にいつでも水分が取れるように、お茶を置いたり塩分補給用のタブレットを準備し、対応して乗り切っています。皆様も熱中症予防に努めましょう。

（介護老人保健施設みみはら科長 伊与田真也）

空調と水分補給